

会員全体講習会**恒例の全体講習「NAPAC カンファレンス 2026」開催****5月20日（水）/TKP ガーデンシティ御茶ノ水**

当振興会の会員向け全体講習「NAPAC カンファレンス 2026」が5月20日、東京・御茶ノ水のTKP ガーデンシティ御茶ノ水で開催され、当日は会員77社105名、報道・関係者を含め83社113名が参加しました。

NAPAC カンファレンスは当会並びに各認定基準の活動に対する理解をより深めて頂くと共に、旬のテーマに基づく講演を通じて得た知見を日々のビジネスに役立てて頂くことを目的に、年1回開催しているもので、今年で4回目を迎えました。

当日はまず、中嶋敬一郎会長が挨拶に立ち、当会の活動に加え社会的な課題の話題を会員全体で共有する機会は貴重であると強調。本日参加した会員各社に謝意を示しました。

その後は「ASEA 基準のご案内」と題し、萩原正志 ASEA 技術部会委員長並びに江坂卓也様（ブリッド）が講義を行いました。また JASMA 技術部会は鴨狩秀明様（マツ・ショウ）が「JASMA 基準と後付消音器の事前認証制度について」をテーマに講義を行いました。

技術部会講義の最後は、寺田孝佳 JAWA 技術部会委員長による「自動車用軽合金製ホイール試験条件 2026 年改定について」、報道・関係者に一時退出を促した後、田中知加副会長による 2025 年度 JWTC サーベイランステスト最終 NG アイテムが公表され、合わせてサーベイランステストの概要と意義について参加者全員で意識を深めました。なお、サーベイランステスト結果は事務局にて、職員立ち会いの元で閲覧が可能となっています。閲覧希望の場合は事前にご連絡下さい。

カンファレンスは休憩を挟み、特別講演として MS&AD インターリスク総研（株）リスクコンサルティング本部リスクマネジメント第三部サイバーリスクグループ上席コンサルタントの松森純様を講師に「サイバー攻撃の実態と対策のポイント」について、また柳井竜也様（プロエージェント）による「サイバーインシデントが実際起こってしまったら」について講義がなされました。

カンファレンス終了後は会場を移動し、懇親会を開催。柳田春人副会長の乾杯で開宴し、会員相互の親睦を深めました。また鈴木高之副会長の挨拶で閉幕しました。

講習会風景



参加者に挨拶する中嶋会長（共豊コーポレーション）



萩原 ASEA 技術部会委員長



江坂様（ASEA 技術部会）



鴨狩様（JASMA 技術部会）



寺田 JAWA 技術部会委員長



田中副会長



松森様（MS&AD インターリスク総研）



柳井様（プロエージェント）